

2年1組 国際・情報（情報）学習指導案

平成14年11月22日(金)

男子17名 女子18名 計35名

指導者 今 琢生 石塚良文

1 単元 『コンピュータでレポートをまとめよう』

2 目標

ワープロソフトを活用し、自分の体験や考えを整理しながら文字と写真を編集してレポートにまとめ、さらに、校内のコンピュータネットワークに発信しお互いのレポートを紹介し合うことにより、デジタル情報としてまとめると情報の発信・共有・加工が容易になることを理解することができる。

3 指導にあたって

(1) 題材について

文部科学省から示された～新「情報教育に関する手引き」～では、情報教育の目標と実施について次のように述べられている。

初等中等教育における情報教育は、3つの要素から構成される情報活用能力〔情報活用の実践力 情報の科学的な理解 情報社会に参画する態度〕をバランスよく育成することを目標としている。

各学校段階における情報教育の実施については、

中学校段階以降では、独立した必修の教科・領域を設けるとともに、各教科等で情報手段を積極的に活用することとしている。情報活用能力の育成は、情報に関する教科等のみでなく、学校教育活動全体で取り込まれて実現するものである。学び方や問題解決の仕方の一つとして情報を主体的に選択・活用できる能力を育成することをねらいとする情報教育は、各教科等の目標の達成にも極めて有意義であり、各教科等の学習指導においても、情報活用能力の育成との関わりを理解の上、計画的に情報教育に取り組むことが求められる。

本校の特設教科「国際情報」の情報分野では、情報教育に関する「実践力」や「態度」を育成することを目標として、いくつかの具体的な活動を単元として設定している。各単元の活動を通して、情報手段を適切に活用しながら、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、発信・伝達する力を身につけることができるように、一時間単位の目標リストの整理に取り組んでいる。

総合的な学習には、課題解決のために情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、発信・伝達する流れがあり、総合的な学習そのものが情報活用の実践力を育てるものであるという見方ができる。こうしたとらえ方により、総合的な学習の内容から、情報活用の実践力の育成に関わる部分を抜き出し整理する形で「国際情報」の情報分野の指導計画を作成している。本単元も、総合的な学習での体験活動の成果をまとめ発信しながら、情報活用の実践力を高めることをねらって構成している。校内のコンピュータネットワークを活用しデジタルな形にまとめた情報を共有することの良さを理解させると共に、自分の体験を順序良く整理すること・自分の考えをしっかりとつこと・受け手に分かりやすい表現を工夫することが、情報発信の基本となることへの理解をより深めさせていきたい。

(2) 生徒について

1 学年時の「情報」、2 年前半の「技術科・情報とコンピュータ」において、ワープロの基本的な機能の活用、インターネット WebPage からの情報収集、デジタルカメラの活用、電子メールなど基本的なソフトウェアの活用、情報モラルの学習を積み重ねてきている。コンピュータの活用には積極的な生徒が多い。本単元の活動にも意欲を持って取り組むものと思われる。

また、職業の世界を体験し将来の自分のあり方について考える総合的な学習にも意欲的に取り組んでおり、職場体験から自分の適正や将来の職業について真剣に考えている生徒が多い。受け手を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えるとともに、友達の体験や考えに触れ、さらに職業への考え方を広げてくれることを期待している。

(3) 小中高一貫教育に関わって

情報教育のねらいには、情報に関する「知識・理解」の部分と、具体的な体験を通して徐々に身につけていく「実践力」や「態度」の部分との、2つのタイプの能力の育成が組み合わされている。このうち、知識・理解の部分は、関連する教科（技術・家庭科「情報とコンピュータ」等）の中で具体的な指導内容が示されている。しかし、実践力や態度の育成は、総合的な学習の時間などで、クロスカリキュラムとして展開されるものであり、学習指導要領には、学年ごとの学習内容は示されていない。

小国町小中高一貫研究の教科連携（情報）部会では、小・中・高それぞれの段階での情報教育に関するおおまかな指導内容を整理しており、本校でもこれをもとにして指導計画を作成している。技術科の内容とのつながり、総合的な学習などの学習課題との関連などを検討し、クロスカリキュラムとして展開される情報教育の中心として位置付けた「情報」の指導計画作成を目指してきたが、国語など他教科との関連も明示する必要を感じている。

情報活用能力の3要素それぞれについて、小・中・高の12年間で身につけさせたい力をリスト化し、12年間クロスカリキュラムとして展開される情報教育の全体計画へと整理できれば素晴らしいのではないかと考える。その実現のためにも、小・中・高の中心に位置する中学校の情報教育全体計画を提案していくことが大切であると考えます。

4 指導計画

時数	情報教育の目標	内 容
2	ワープロソフトを活用して文章をタイプング入力できる。	ワープロを使った文字入力の仕方、漢字変換の仕方を復習する。 修学旅行の作文をワープロで作成する。
2	相手に伝えるために、自分の体験や考えを整理しながら、ワープロソフトを使って文章を編集できる。	職業についての体験学習の成果を整理しながら、ワープロソフトを使って文章を編集する。
1	デジタル写真から必要な部分を切り出し、ワープロファイルに貼り付けることができる。	職場体験学習のデジタル写真から、自分のレポートに必要な部分をトリミングして切り取り、ワープロファイルに貼り付ける。
1	文字と画像を効果的に組み合わせながら、体験レポートをまとめることができる。	文字情報と画像を組み合わせで編集し、レポートのファイルを作成する。
2 (本時 1/2)	体験レポートの情報を校内ネットワーク上に発信し、互いの体験を紹介しあうことができる。	レポートファイルを校内ネットワーク上で共有できるように、Web ページ形式に変換する。 互いの作成レポートをブラウザで閲覧する。 ネットワークの便利な点について話し合う。 自分のレポートを修正する。

5 本時の指導

(1) 目標

ワープロで作成したレポートを校内ネットワーク(注1)で紹介し合う活動を通して、デジタル化した情報は発信・共有が容易であることに気付くことができる。

(2) 指導過程

段階	学習活動	主な発問と指示 説明 ・ 生徒の反応	評価 主な支援
導入	1 今日の学習活動を把握する。	<p>T1: 体験レポートをみんなで紹介しあうにはどうしたらよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷して配布すればよい。 ・ 校内ネットに載せればよい。 <p>T1: 校内ネットのリンク集(注2)に、皆さんのレポート一覧を作成しましたが、クリックしても何も表示されません。ここに皆さんのレポートが表示されるようにしましょう。</p>	<p>先輩のレポートを参考にさせてもらったことを思い出させる。</p> <p>校内ネットに一覧を作成しておく。一人一人のレポートのファイル名を決めておく。</p>
<p>〈本時の学習課題〉 体験レポートを校内ネットワークで紹介し合い、ネットワークの便利なところを考えよう。</p>			
展開	<p>2 ファイルの変換作業を行う。</p> <p>3 お互いのレポートを読みあい感想を書く。</p>	<p>T1: 校内ネットのURL(注3)の構造、ファイルをWebページ形式(注4)に変換する必要があるについて、簡単に説明する。</p> <p>T1: ワードを使って、Webレイアウト表示に切り替え、ブラウザでの表示にあわせたレイアウトを工夫し、Webページ形式に変換して保存する手順を説明する。</p> <p>T1: プリントを見ながら作業しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変換作業を行う。 ・ 共有フォルダに提出する。 <p>T2: ブラウザ(注7)で自分のレポートが表示されるか確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウザで表示を確認する。 <p>T2: 友達のレポートを見せてもらいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よくできている。 ・ うまく表示されないものがある。 	<p>技術科での学習内容を思い出させる。</p> <p>名前を付けて保存するとき、Webページの形式を選択させる。</p> <p>手順を印刷した資料を配布する。</p> <p>T2: 机間指導する。</p> <p>T1: 共有フォルダに提出されたファイルを校内Webサーバ(注5)にアップロード(注6)する。</p> <p>うまく表示されない場合は、ファイル名に間違いがないか確認させる。</p> <p>自分のレポートをWebページ形式に変換し、校内ネット上に表示することができたか。</p>

		<p>T2：友達のレポートを見せてもらった感想とネットワークの便利だと思う点をプリントにメモしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモしながら見る。 	<p>記入用プリントを配布する。</p>
ま と め	<p>4 校内ネットワークを使って発表し合うことの便利さについて話し合う。</p>	<p>T2：友達のレポートを見せてもらった感想を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えがきちんと書いてある。 ・ 写真の切り取り方が上手。 ・ 読み手にわかりやすくまとめている。 <p>T1：ワープロで作ったレポートをネットワークで発表すると便利なことはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷しなくても1つのファイルをみんなで見ることができる。 ・ 一覧表からクリックするだけで見ることができる。 ・ 文章の内容や写真の大きさを簡単に修正できる。 ・ 自分たちの体験を残すので後輩にも役立ててもらえる。 ・ 必要なときに印刷して使うことができる。 	<p>ネットワークを活用したデジタル情報の発信・共有の容易さに気付くことができたか。</p>
	<p>5 学習の感想を電子メールで送信する。</p>	<p>T1：今日の学習の感想を電子メールで送信して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メーラーを起動して感想を書き送信する。 	<p>届いていることを確認し生徒に伝える。</p>

(注1) 校内ネットワーク-- 校内のコンピュータを繋いだネットワークのこと。

(注2) リンク集 ----- Web ページ (ホームページ) の目次、項目をクリックするとそのページを表示する仕組みになっている。

(注3) URL ----- http:// ネットワーク上のファイルのありかを示す。

(注4) Web ページ形式 -- HyperText Markup Language (HTML) で記述したファイル、Web ページ (ホームページ) を構成するファイルの形式、一般的には HTML 形式と呼ぶがマイクロソフト社の Word ではこの用語を使っているので統一した。

(注5) Web サーバ ----- Web ページ形式のファイルをネットワークで提供するコンピュータ

(注6) アップロード ----- 一般のコンピュータからサーバに送信・保存すること。

(注7) ブラウザ ----- Web ページ (ホームページ) を閲覧するソフトウェア 小国中学校では Internet Explorer を利用している。